

の所  
津窯業  
江木村

# 比へ瓦初出荷

## 富裕層向けに5400枚

石州瓦製造の木村窯業所(江津市都野津町、木村博紀社長)が19日、

外市場開拓の第1弾として計画した。

宅1棟に施工される計画という。

他、シンガポールへの輸出に向け、現地業者と交渉を始めており、

浜田港からフィリピン向けの平板瓦5400枚を出荷した。同社の海外輸出は初めて。国内の瓦需要の低迷を受け、富裕層の高級住宅をターゲットにした海

外市場開拓の第1弾として計画した。同社は2008年から、他の石州瓦メーカーが既に輸出実績を持つフィリピンで営業活動を開始。その結果、首都マニラの建材業者から受注を獲得した。現地の高級一戸建て住

宅1棟に施工される計画という。出荷した平板瓦はフルフラット型で、高いデザイン性に加え、独自開発の天然釉薬の色合いと質感に特徴があり、今後の継続的な取引につなげる。

さらにフィリピンの石州瓦工業組合がま

とめた12年の石州瓦全体の出荷枚数は、瓦以外の屋根材の増加などが影響し、前年比3.6%減の6270万枚。このうち、約16万2千枚が台湾、ロシア、フィリピンに輸出された。



フィリピンに出荷するため、コンテナに荷積みされる木村窯業所の石州瓦—浜田市熱田町、浜田港